

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業				
事業名	ドリス&オレガ コレクションvol.7 ブラザーブラザー						
目的・内容	<p>テレビ等で馴染みのある俳優による演劇公演を開催することで、より多くの人に優れた演劇公演を鑑賞する機会を提供し、演劇鑑賞者の拡大と活動者及び指導者の技術的向上を図る。</p> <p>[内容] 「家族って何？」を問い直すハイパーヒューマンコメディ。西村雅彦率いる演劇ユニット「ドリス&amp;コレクション」の新作公演。全国19会場で開催、倉吉公演は千秋楽となる。</p> <p>作：川上徹也、演出：中谷 直哉、出演：西村雅彦(にしむらまさひこ)、飯島直子(いじまなおこ)、長谷川朝晴(はせがわともはる)、本多力(ほんだちから)(ヨーロッパ企画)、上地春奈(うえちはるな)、デビッド伊東(いとう)、安田顕(やすだけん)(TEAM NACS)</p>						
開催日時	平成25年12月25日(水) 開演18:30						
会場	倉吉未来中心 大ホール						
入場料 (友の会・団体)	S席 5,500円 (5,000円)	A席 4,500円 (4,000円)	高校生以下 2,000円				
集客状況	入場者数	1,125名	設定席数	1,267席			
事業費状況	予算額	収入	4,725,000円	支出	5,694,000円	収支比率	83%
	決算額	収入	5,529,530円	支出	5,600,616円	収支比率	99%
来場者アンケート (主なもの)  回答者数 492名	<p>回収率44%、満足度85%、新規顧客獲得率59%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泣いたり、笑ったり、自分が怒っている感じになったりと、とにかくどんどん芝居に引き込まれていきました。最後はこの家族の一員になった気持ちでした。素晴らしかった！(鳥取市・50歳代・女性)</li> <li>・一人ひとりの個性が輝いていてとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。(鳥取市・60歳代・女性)</li> <li>・初めて舞台を観させて頂き、とても感激でした。鳥取が千秋楽という事で感動のサプライズまでありびっくりしました。とても思い出深い時間を過ごさせてもらいとても良かったです。(鳥取市・40歳代・女性)</li> <li>・兄弟というテーマの中から人間の本音、人間くささ、支え合うことの難しさと大切さ、生きていくことの大変さ、そういうことを教えてくれた舞台でした。ありがとうございました。(鳥取市・30歳代・男性)</li> </ul>						
1次評価 (内部)	<p>[成果] ・テレビ等で馴染みのある俳優による演劇公演の開催によって、多くの方に優れた演劇公演の鑑賞機会を提供することができた。また、新規鑑賞者は59%となり「また演劇をみたい」との感想も多く鑑賞者拡大のきっかけとなった。 ・地域連携企画のチケット提示割では、夕食で近隣店舗を利用する方が多く、店舗によって差があるが好評であった。 ・著名な俳優が出演しているとはいえ、近年の状況から集客は容易であるといい難い。ターゲットを明確にしたアプローチ、露出の選択は的確であり評価できる。中部地域のニーズが垣間見える事業結果といえよう。</p> <p>[課題等] ・新規鑑賞者を多く獲得しているが、来年度事業に演劇公演開催の予定はなく、今後どのように継続して鑑賞者拡大を図るのが課題となる。定例的に優れた演劇公演を開催し、鑑賞者の拡大、固定化を図ることが県内の演劇文化の活性化につながると考えられる。</p>						
2次評価 (財団評議員)	<p>[量的成果] ・全ての指標項目について、目標を大幅に達成し、成果がでている。特に入場目標達成率119%とその入場者者の顧客満足率が85%が高かったことは、大成功であると思います。 ・著名な出演者の舞台公演、地元でプロの演者の公演を見る機会をほとんどないこともあって多くの来場者となったと思う。県民の期待度、満足度も高かったと思う。公演内容も鑑賞しやすい内容で、鑑賞者の満足度が高かったのでは。</p> <p>[質的成果] ・演劇鑑賞のターゲット年齢層にはまっていたのではないかとおもう。広報もテレビ、新聞、チラシの配布など効果的だったと思う。テレビCMなど出演者のコメントなど効果的だったと思う。次の演劇公演に活かしてほしい。</p> <p>[課題等] ・アフター事業の来場者も多く、演劇鑑賞のリピーターも多くあったのではと思う。プロと地元アマチュア劇団とのコラボも良かったと思う。機会があれば、このような公演スタイルも増えると鑑賞への興味が高くなるのでは。 ・若年層の鑑賞が少なかったのではと思う。夜公演などということもあり県内から幅広く来場と言うわけにはいかないと思うが、プロの公演を鑑賞する機会としてはもう少し多くてもよかったように思う。 ・県内ではプロの演劇公演を見る機会が少なく、鑑賞者も公演実施があると期待は高いと思う。できれば、年1回でも県内での実施が行えれば、県内鑑賞者の幅ももっと広がるのではないかとと思う。今回の顧客を次に繋げてほしい。</p>						
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中部地区においては、多くの要因によって全国的(有名)な公演等の開催は東・西部に比べて少ない現状がある。それは、多くの方々も鑑賞したくとも鑑賞できないという現実があり、その裏返しとして、有名公演を鑑賞したいという思いが強い。また、演劇というジャンルもプロによる公演は、ほとんどないのが実態である。今回の公演を顧みると多くの方々も、プロの公演を鑑賞したいというニーズが高いことが証明されたといっているのはと考えている。今後については、中部地域においては、鑑賞公演(ネームバリューのある)を実施していく必要性を強く感じる。</li> <li>・中部地区には演劇分野の活動が少ないと捉えがちだが、町民ミュージカルなどを含めると芝居に関心のある活動者は多くある。出演者に興味を持って来場された方が多いため同様の規模の公演でなければ集客は困難だと感じるが、「演劇をまた観たい」という気持ちを次につなげられるよう鑑賞事業と創造事業、地域活性化事業を活用して企画実施していきたい。</li> </ul>						